

2023年度 第1回 子どもセンターただON運営委員会

開催日時：2023年6月16日（金）18：00～20：00

開催場所：子どもセンターただON 2階ことこと とんとん

出席委員：10名

子ども委員：0名

子どもセンターただON職員：5名

1. 挨拶

（館長）

本日はお忙しい中、お越しいただきましてありがとうございます。子どもセンターただONの館長をしております吉田と申します。よろしくお願いいいたします。日頃より、子どもセンターの運営にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

ただONの開館当初からご出席いただいております皆様、また、新しく委員をお引き受けくださった皆様、どうぞよろしくお願いいいたします。

今年度、ただONは10年目を迎えました。開館当初より皆様に愛されて、子どもたちもたくさん来てくれています。現在の総人数、5月が終わったところで、64万人になりました。本当に0歳から18歳までの幅広い子どもたちが毎日利用してくれています。

また、開館当初より中高生が多いただONですが、変わらず中高生が多い状況です。中高生が多いことで様々な問題が起きますけれども、その都度関係機関と連絡を取りながら解決しております。地域の皆様にはご心配やご迷惑をおかけすることが多々あったかと思いますが今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。

2. 委嘱書交付

（館長）

ここから2023年度、第1回子どもセンターただON運営委員会を始めさせていただきます。

年度がかわりまして役員の方が改選され、学校の先生が異動されまして、少し顔ぶれが変わっております。本日欠席の方もいらっしゃるのですが、全員で18名です。名簿を確認していただいて、もし間違いがありましたらおしらせください。

今年度第1回ということなので、新しい方もいらっしゃるので一言ずつ自己紹介をお願いできますでしょうか。

<委員より自己紹介>

3. 議事

①2023年度職員紹介および運営方針について

(館長)

一緒に協力していただける方が多いので、ありがたく思っております。今年度も地域の皆様と一緒に、私たちのことを支えていただいて、作り上げていくような施設にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

<ただONの職員紹介>

②「まちだ若者大作戦」について

※資料1 参照

(職員)

今年度、新しく始まった「まちだ若者大作戦」について説明いたします。

「まちだ若者大作戦」は、「子どもにやさしいまちはだれにとってもやさしいまち」の実現に向けて、子ども・若者の力で“やりたいこと”を成し遂げられるように行政が後押しをするという事業になっています。実施の主体はあくまで子どもと若者。アイデアが無限に出ていて、自由な発想で大人では考えられないようなアイデアが出てきているところです。

今、ただONの中で出ているアイデアが2つありまして、1つ目が「寺子屋」。小学生が宿題や夏休みの課題に取り組む時間を設けて、わからないところを中高生に聞く、そんなサポートができたらと子どもたちからアイデアが出ています。2つ目が「子ども食堂」。夜、ご飯を1人で食べて寂しい思いをしている子や、お話ししながら食べたいと思っている子のために夜ご飯をつくるというのを企画しているところです。

子どもたちや若者がこういった事業があるということを知るために、タウンニュース・ホームページに掲載をし、市内の高校にチラシを配布しています。

地域の皆様にもお願いをしてご協力いただくことがあるかと思いますが、その時にはぜひご協力いただければと思います。

(館長)

町田市は、子ども・若者の事業にとっても力を入れています。国も他市もそうですが、児童青少年課だけではなく、他の課も協力しながら子どもたちにやさしいまちづくりをしていく。「子どもにやさしいまち」というのはみなさんにもやさしいまち。たくさんの方々にやさしいまちになるだろうというところから、他の課とも協力しながらいろいろな提案をしています。その中で「まちだ若者大作戦」というのが始まりまして、まだ実施はこれからですけれども、「これが市の施策に合うのか」という審議というのも子どもたち、高校生が行います。

③ 2022年度の事業報告

※資料2、3 参照

(職員)

2022年度も、午前中は乳幼児の事業「0歳あつまれ!」「親子であそぼON」などを実施しました。

工作についても青少年委員さんによる「うきうき工作」やボランティアさんによる「キャンドルづくり」など実施しています。

つながるまちだファミリーさんの「洋服のリユース会」がとても好評です。主になっている方が子育て中ということで、交流が生まれたり、子育てのお話をされていたりします。つながるまちだファミリーさんは、工作ボランティアの方が「入園グッズづくり」を実施した時に、参加者のお子さんを見てフォローしてくださいました。

桜美林大学の学生さんが来て遊ぶコーナーも毎年行っています。子どもたちも学生さんと遊ぶのが嬉しそうで、年に何回か実施しています。

昨年度は「若者が市長と語る会」もありました。ちょうどハロウィンの時期でした。

「ギター講座」はただONのOBの子が講師になって実施してくれました。参加者が少なめではありましたが、交流も生まれて、ギターを弾けるようになった子もいました。ボランティアの皆さんも活躍してくれました。

子ども委員は、いろいろな行事で活躍してくれています。お祭りが何回かある中で、ハロウィンパーティは大好評で一番盛り上がったかもしれません。工作コーナーなどをしてくれました。昨年度も紹介しましたが、「ごみのない世界を」ということで、子ども委員がごみについて考える時間をつくりました。分別の仕方などの紙芝居を作成して、忠生公園にごみ拾いに行きました。

④ 利用状況

※資料4 参照

(館長)

小学生より中高生のほうが人数が多いです。年によって若干違いますが、この傾向はほぼ同じです。他の子どもセンター5館と比較すると珍しいです。2021年度はコロナがあったので、最初の来館者よりはだいぶ減っています。今年度に入りまして、少しずつ来ている子どもたちの数も増えているなどというのを感じていますが、まだコロナの前の利用者数には届いていない、少し落ち着いている部分も若干あるかなと感じています。

先ほどの町田市の子どもに対しての施策のお話をしたのですが、中高生が多い児童館は全国的にあまりなく、中高生プラザのように中高生だけが遊べる場所ではなくて、0歳から18歳まで様々な子どもたちが来ている場所で高校生が使えるということで、6月30日に日野市から見学依頼がありました。他市も中高生の居場所を今後作っていかねばいけないというところも考えられているようで、見学に来られることになっています。立地がとてもいい、たくさん小学校があって、中学校があって、高校があってというところで、この地域の中でただONの場所はとても良かったのではないかと思います。そこでみんなが遊びに来てくれて、遊びやすい場所にあつて、中の設備も遊びやすい、中高生も居心地がいいところになっているというところがあるのではないかと思います。

⑤子どもの日スペシャル

※資料5 参照

(職員)

子ども委員会企画ということで、「子どもの日スペシャル」を毎年やらせていただいています。目的としては、子ども委員会の子どもたちがイベントの企画・運営を通して成長すること、参加してくれた子どもたちに子ども委員の存在を知ってもらって子どもたちの参画につなげたいということがあります。地域団体さんに出展していただくことで、連携して地域とのつながりを深めるというところも目的としています。今年度も5月5日の祝日、中日だったんですけれども、時間は1時から4時まで、お昼はまたがずに午後の3時間で凝縮して楽しんでいただきました。来館人数は400名ぐらい、来ていただきました。内容は、1時から1時30分までは「太鼓をたたこON」の子どもたちとS・T・H・D!!!さんの和太鼓の演奏がありました。1時30分からは各ブースに分かれて、ただON子ども委員会のこいのぼり作り、中高生委員会のコリントゲーム、まあち中高生委員会のお菓子ガチャ、いろいろな方の工作、Mr.バルーンさんというボランティアの方のペンシルバルーン、つながるまちだファミリーさんの子ども用品リユースコーナー、S・T・H・D!!!さんがパンケーキと駄菓子

の販売がありました。桜美林大学のボランティア部とただONを愛する会のみなさんも来てくれました。

1階のプレイルームにたくさんのプラレールやブロックを置いて遊べるコーナーを設置しました。子ども委員のブースと、飲食ブースと、今年はコロナが明けたということでS・T・H・D!!!さんのパンケーキをいただいて手作りを食べられました。プレイルームは子ども委員の中高生委員たちが大きいゲームコーナーをしてくれました。ただONのOB・OGのボランティアさんも来ていただいて、子ども委員会のフォローをしていただいたり、各コーナーの見守りに入ってもらったり、10名弱の方が手伝ってくださいました。子ども委員会の子はイベントに慣れていて、イベントになるときぱきと働いていて、当日も時間通りに係をやったり、自分たちもしっかり楽しんだり、よく動いているなど感心したところがありました。今年は子ども委員の中でも高校生が活発で、毎日遊びに来てくれています。「さくらまつり」に出店してそこで盛り上がったようで、精力的に活動しています。小学生は忙しくて毎回は来られない子もいるのですが、高校生が引っ張ってってくれています。

この先また夏祭りやハロウィンがありますので、地域の方にもご協力いただいて子ども委員としても活躍してほしいと思っています。

4 その他 情報交換

(館長)

それでは最後に、今、いろいろなお話をさせていただいたので、ご感想や何か思うところがありましたらお話をしてください。

(委員)

今回は珍しく「子どもの日スペシャル」の日に所用が入って何もできませんでしたが、また20日、何もなければ私も飛行機づくりとか、声をかけていただければ。あとは小山田地区も来月小山田子どもクラブが開館するというので、正に準備を進めている最中です。オープン後にはただONとも姉妹関係じゃないけど協力し合って交流していただいて。だいぶ教わったと思うんですけども、いいところも悪いところも。この間、見ていただいたので、ね。

(委員)

すごくいい子どもセンターになったんだなあと思います。私も建設準備委員会からやって、建てる前は努力をしましたがけれども、建ってからはお任せで。孫を連れてた

まに来ると「ああ」と思ったり、お話を聞いていると中学生・高校生の利用の仕方も変わったんだなあと、前はすごく中学の先生方怪訝そうな顔をして「9時？」と思っていることもあったけれど、こんな風になってるなあと。私も学校で地域子ども教室をやっている、いまだにすれ違う子に名前を呼ばれるとうれしいんですよ、すごく。なんでもない主婦がそうやって覚えてもらって声かけてくれて、館長さんなんかは館長さんって立場があるけど、そういう子どもたちの声があちこちからあったら本当にいい街になるだろうし、うちの子どもも一緒に食事行くんだけど、大概どこに行ってもアルバイトでいるんですよ、高校生。それで「あっ名前覚えてますか?」「覚えてるよ」とかそういう会話をするうれしさが普通の主婦ではない喜びを感じて、うれしいなあと思っている最近でございます。

(委員)

先日、子どもの日スペシャルで4年ぶりのパンケーキを焼いて、物価が上がったので同じ価格では出せなくてミニサイズにしました。1枚100円です。続けていきたいと思えます。

私が初めて子どもセンターに触れたのは、息子がギターの講座に行きたいと言ってばあんに行きました。忠生地域にもできたらいいなと思っていました。子どもたちといっしょにいられるってしあわせ。小山田にも子どもクラブができることになり、ただONに教えてもらいながら運営していきます。今後ともよろしく願いいたします。

(委員)

10年の積み重ねの活動がお子さんに浸透して居場所として大事な場所になってきているんだなあとお話を聞きながら思いました。中高生がここを居場所にしていっぱいになる雰囲気は想像できなくて…確かにたむろしているとお店の人は嫌がるだろうし、そういう居場所をつくる努力はなかなかできないし、ただONだけではなく町田市の子どもたちには与えてあげたいと思えます。ここに来ることで非行から逃れられる、心のどこかであたたかさを感じられる。一生懸命お子さんを見守って、町田市行政がいきわたっていると感じます。

子ども会は停滞してしまっていて、スポーツクラブ、塾が入ってきて、子どもたちの時間が取れない。来年を目途に会は閉鎖する意向で、いたしかたないと…。今年はぜひ協力させていただいて…。残念ですが、その代わりに、市の支援活動がどんどん活発になっています。

(委員)

楽しくていいなと思って聞いていました。

2週間前ぐらいに集会所で水道のいたずらがありました。広場で遊びながら、植え込みに食べたもののごみを捨てていることもあります。団地の階段の踊り場に、子どもが吸った吸い殻が捨てられていることもあります。エレベーターを使って鬼ごっこをしていることもあり、気づいたら注意しています。

(委員)

スケボーの音が朝方などに聞こえると、近くに思いっきりできる場所があったら…と感じます。

ここの建物ができたときに、もっと広さが必要なんじゃないかと感じました。

(委員)

すごくみなさんいろいろやっているんだなあというのを感じます。

我が家の前でも子どもたちがスケボーやっていて、車が来たら危ないなあと感じている。警察も来たことがあって、それからは少なくなってきました。

この機会にただONに足を運ばせていただいてよかったです。

(委員)

ここに来るまでに子どもとすれ違い、すぐ挨拶してくれたので、人なつっこい子、素直な子が多いと感じました。

この間、飴みたいな袋が落ちていて学年集会をしました。タバコはないですけども、地域でそういうことがあったということは教員にも伝えようと思います。

毎朝7時に行って、全教室換気するよう教員に指導しています。授業の様子もよく見に行くんですけども、比較的落ち着いて授業を受けています。期末考査が来週の水曜日からなので、今週水曜日からテスト前ということで部活はほぼやっていません。

大会がある部活は平日に1時間程度やっています。ただ、遊んでいる子もいます。

部活がないので、4時には学校を出られるので、人数が増えたんじゃないかと思いません。9時まで遊んでいる子も数名いるということで、だいたいわかっているんですけどもバスケットの好きな少年ではないかと。家にあまり帰りたくないのもあるのかな、帰ってもおもしろくないのかなっていうところから、ここが居場所になっているのかなということで、健全育成という点ではただONが貢献しているのかなと思っています。居場所がなくて外でいたずらをするよりもいいのかなと思います。

(館長)

それでは以上になります。

本日は長い間本当にありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

次回運営委員会

予定

第2回 10月13日(金)

第3回 2024年2月9日(金)

ただONパーティ10 2024年1月28日(日)